



6月の園だより

令和3年度 川崎保育園
文責：水落

主 題：生き物を大切にしよう（生命の尊重）
生活目標：あさ、ひる、よる、食べたらみがこう3分間

「目に青葉 山ほととぎす 初鯉」例年だと初夏の気持ちの良い青空が広がる頃です。しかし、観測史上2番目の速さで梅雨入りしてしまいました。ここ数日は梅雨の中休みですが、これからじめじめとした日々が続きます。体調管理には気を付けていきたいですね。

さて、なかなか収束の気配が見えない新型コロナウイルス。筑後地区の感染者数は今のところ減少傾向にあるようですが、ワクチン接種が一般的になるまでにはまだまだ時間がかかりそうです。身近なところでもPCR検査を受けたという話も聞くようになりました（いずれも幸いにして陰性だったということです）。もはや、いつだれが感染してもおかしくない状況にあるのかもしれない。昨日配布した文書の通り、園児（同居のご家族の場合も）の体調不良時には登園を控えていただきますよう重ねてお願いいたします。本園でも昨年度に引き続き、園児・保護者及び職員の感染予防を最優先とし、今後のさまざまな園行事について時期、内容の大幅な変更、中止を検討しているところです。詳細につきましては、後日総会資料添付として配布いたしますので、宜しくをお願いいたします。

6月の予定

- 1日（火）安全の日
- 4日（金）虫歯予防デー
歯科検診
- 7日（月）～19日（土）
保育実習
- 15日（火）安全の日
- 16日（水）避難訓練
- 25日（金）誕生会



リズムとテンポとくり返し

本園が取り入れている「総幼研」のすべての活動において、上記の原則が徹底されています。それは、子どもの持つ生来の欲求に即したものだからです。

心地よいテンポ（速さ）があること、明快なリズム（律動）があること、そしてそれをくり返すこと。そのことを子どもたちは歓迎します。単純に楽しいのです。

リズムとテンポとくり返しのある環境に身を置くだけで、幼児期の脳は良い刺激を受け続けることとなります。子どもの「動きとことばとリズム」の活動に引き込む「リズムとテンポとくり返し」は、幼児期の子どもの教育にとってたいへん重要な要素です。



ひとりではできないことが、みんなとならできる。

みんなとできることは、やがてひとりでもできるようになる。

園では仲間とともに活動をおこないます。日課活動も一人で行うことはできません。できないというより、一人では得ることのできないとも高めあう感覚・・・友が友を呼び、力をあわせ、時に補い合う集団としての効果があります。

たとえば、最初はだれもいえないような音読でも、先生の声についていく子がいます。すると「ぼくもわたしも」という共振するような連帯感が生まれ、広がり、いつの間にかみんながいえるようになるのです。

多くの活動において、同じことがいえます。幼児期においては、まず集団の力をはぐくみ、そこから将来、この能力を引き出していくことが大切と考えています。

7月の予定

- 7日（水）七夕まつり（園児・職員のみ）
- 12日（月）
- 13日（火）
- 14日（水）
- 16日（金）夏まつり（園児・職員のみ）

※新型コロナウイルスの状況によって中止することがあります

